



朝日新聞デジタル > 記事

apital 医療・健康・介護 ▶ 健康ガイド ▶ もっと医療面

# 手術翌日「苦しい」 予期せぬ死の調査、見直し求める声

有料会員記事

出河雅彦 2020年11月25日 17時00分

- シェア
- ツイート
- ブックマーク
- メール
- 印刷

## 僕のコーチはがんの妻

妻ががんになり、記者である僕に料理の熱血指導を始めました。



広告

レディースウォーキングシューズ  
クリエイティブレトロ

### PR 注目情報



### 【校長インタビュー】コロナ禍で高校

現場はどのように学びを継続したか

### 大幅コストカットも実現！

現場の非効率を解消するDXツールとは

### 誕生55周年のセイコーダイバーズ

プロスペックスから記念モデルが登場

### いつでもどこでも自由に受験できる？

コロナ禍オンライン模試が示した可能性

### 「無茶ぶり」が町工場のIT化を推進！

現場の意識変えた「見える化」とは？

### 三浦翔平とロンジン スピリット

俳優としてさらなる挑戦を語る

### 50代なら考えたい相続のコト…

土地活用の資料差し上げます！

### 哀川翔が専門ドクターに聞いた！

アルコールが原因の慢性すい炎とは？

### 東京・町田の里の暮らし

40年来の守り手と大学生に話を聞く

### 朝日新聞社会部 公式ツイッター

Tweets by Asahi\_Shakai

広告

医療事故の再発を防ぐための医療事故調査制度が始まって5年が経った。制度への理解が深まらないためか、医療機関から事故として報告される件数は想定を大きく下回る。事故の教訓を共有するための情報開示も不十分で、被害者の遺族からは制度の見直しを求める声があがっている。

そけいヘルニアの日帰り手術なら

www.imazu-cl.com/

## 手術翌日 予期せぬ死

[PR]

静岡県内の男性（当時53）は2015年12月、県内の民間病院で首の手術を受けた

翌日に死亡した。

その年の初めから肩や腕のしびれや痛みを感じていた男性は、4月に同病院を受診してしばらく投薬治療を受けたが、症状が改善しなかった。10月に同病院で受けた脊髄（せきずい）の造影検査などで、背骨をつなぐクッションの役割をする椎間板（つかんばん）が飛び出す頸椎（けいつい）椎間板ヘルニアとわかり、主治医から手術を勧められた。「ヘルニアをとって金具で補強する手術」と説明された。

男性は15年以上前に別の病院…

この記事は **有料会員記事** です。有料会員になると続きをお読みいただけます。

残り: 4426文字 / 全文: 4804文字

今すぐ登録（1カ月間無料） >>

ログインして全文を読む >>

2種類 **有料** の会員記事が **月300本まで読める** お得なシンプルコースは **こちら**